

第1章 子どもが育つということ

1. 子どもという存在

- (1) 自ら発達する存在
- (2) 助力や保護を必要とする存在
- (3) 大人とともに生きる存在

2. 子どもを捉える視点

- (1) 子ども自身の発達の体験
- (2) 発達をどう捉えるか

3. 保育の営み

- (1) 環境を通して行うことの意義
- (2) 子どもと保育者との間につくる保育の営み
- (3) 保育を振り返る

コラム①：子どもの人間関係を育むー保育実践の振り返り

第2章 関係の中に生きること

1. 哺乳類の親子とアタッチメント

- (1) 哺乳類の親子関係
- (2) 人の親子の関係性

2. 長い子ども時代のなかで育まれる

- (1) 長い子ども時代とアロマザリング
- (2) 子ども時代の逆境的体験と保護的体験

第3章 保育者が結ぶ人間関係

1. 子どもにとっての保育者

- (1) 子どもにとっての保育者
- (2) 自分にとっての保育者

2. 子どもを理解すること

- (1)子どもの心に触れる
- (2)子どもの心を感じる

3. 子どもと関わり応答すること

- (1)子どもと共に動くこと
- (2)応答すること

コラム②:「自分の“音”ってどんな音？」

第4章 領域「人間関係」について

1. 保育の基本と領域「人間関係」

- (1)幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の保育内容
- (2)領域「人間関係」のねらい・内容の変遷

2. 平成29年告示幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された領域「人間関係」

- (1)幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂
- (2)保育内容「人間関係」のねらい・内容の定義
- (3)3歳以上児の保育内容「人間関係」
- (4)1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容
- (5)乳児保育に関するねらい及び内容

3. 遊びを通しての総合的な保育

- (1)子どもの生活の基盤となる「人間関係」
- (2)子どもの生活と遊び

コラム③:「本もともだち」

第5章 乳児期の人間関係

1. 乳児の人間関係

- (1) 身近な人との安定した関わり
- (2) 身近な人と気持ちを通わせる関わり
- (3) 親しみ、関わりを深める関係
- (4) 人と関わる力の基盤を育む保育者の援助や配慮

2. 1歳児の人間関係

- (1) 安定した関係の中で、共に過ごす心地よさ
- (2) 周囲の子ども等への興味や関心の高まり
- (3) 1歳児の人間関係を育む保育者の援助や配慮

3. 2歳児の人間関係

- (1) 周囲の子どもたちと遊ぶ楽しさ
- (2) 友達と一つの遊びを共有する楽しさ
- (3) 2歳児の人間関係を育む保育者の援助や配慮

第6章 幼児期の人間関係

1. 3歳児の人間関係

- (1) 新しい世界のはじまり
- (2) 保育者とのつながり
- (3) 友達との出会い

2. 4歳児の人間関係

- (1) 4歳児の姿
- (2) さまざまな関わりの中で
- (3) ひとりひとりの思いが違うということ
- (4) みんなと生活する中で

3. 5歳児の人間関係

- (1) 5歳児の姿
- (2) 仲間との関わり
- (3) 集団の中で

コラム④：「伝承遊びで育つもの」

第7章 子どもの人間関係を支える大人の役割

1. 子どもの家庭での生活、保護者の思いに目を向けて
2. 保護者への対応
3. 家庭での子育ての状況に目を向ける
4. 保護者対応の具体的方法

第8章 地域の中の子ども

1. 領域「人間関係」における地域社会との交流
 - (1) 子どもの地域社会における関わりの現状
 - (2) 地域社会との交流の基盤となる人間関係
2. 年齢ごとにおける地域社会との交流
 - (1) 乳児クラスにおける地域社会との交流
 - (2) 幼児クラスにおける地域交流

コラム⑤：「たったその一言で人は変わる」